

町の生活情報紙

— HIDE PUBLIC RELATIONS —

広報いいいで

8

12, August
2010
Vol.1001

特集◎白川ダム
治水30年物語



- 03 特集◎白川ダム 治水30年物語
- 04 第1章 白川ダムの力
- 06 第2章 白川発電所究極のクリーン・エネルギー
- 08 第3章 回想・ダムができるまで
- 10 第4章 地域とつながる・広がる
- 12 まちかどNEWS
めざみの里カントート／手ノ子地区協議会主催「ホタル祭り」／永年勤続優良社員表彰・新規学卒就職者激励会ほか
- 14 町総合防災訓練開催のお知らせ
- 15 町の防災に朗報
町内3事業所が消防団協力事業所に認定ほか
- 16 直伝おふくろの味
- 17 子育てファイル／あ～す図書室情報
- 18 ようこそ！わたしたちの倶楽部に／町長の見て歩き
- 19 飯豊町における参議院議員通常選挙開票結果
- 20 お知らせ／戸籍の窓／人の動き／編集後記
- 22 いいで未来号II
- 24 未来につなぐ～いいでの美しさをいつまでも～

町のホームページから

さらに情報を！

町からのお知らせ情報は、
飯豊町ホームページ www.town.iide.yamagata.jp
でも紹介しています。
知りたい情報は、「検索キーワード」を、ホームページ
の検索ボックスに打ち込んでください。当該ページへ
簡単に移動することができます。

こちらのボックスに
「検索キーワード」を
打ち込んでください。



表紙

今月の親子

添川在住
遠藤洋輔さん(32歳)
みどりさん(32歳)
新大くん(6歳)
聖稀里ちゃん(4歳)



前列左から時計回りに、
聖稀里ちゃん、新大くん、
洋輔さん、みどりさん
(撮影場所／眺山ふれあい公園)

遠藤家は4世代同居の8人家族。ときには世代間の考え方の違いで、意見がぶつかることも。それでも子育てを支え合う家族の大切さは、代えがたいものようです。「共働きのので、日中子どもたちにさみしい思いをさせることがないことが大きいです」と洋輔さんとみどりさんは両親・祖父母に感謝します。

国勢調査は全国の全世帯が調査対象です。
調査結果は、将来の国づくりに生かされます。



9月下旬より国から任命された統計調査員の皆さんが、各家庭へ調査のお願いにまいります。どうぞご理解をよろしくお願いします。

特集◎白川ダム

治水30年物語

夜空に舞い上がる花火と白川湖に映るもう一つの大輪。
多くの人を魅了してやまないその美しい湖面を見れば
長い歴史とダムの果たしてきた多くの役割が見えてくる。
30年間にわたり住民の生活を守り続けてきた白川ダム。
その歩みと今後の展望について考えるダム完成30周年特集。

SNOWえっぐフェスティバル大花火大会

7月24日と25日にかけて、白川ダム湖岸公園を会場にSNOWえっぐフェスティバルが開かれた。初日の夜は、大花火大会が行われ、町内外から多くのお客様が集まった。今年は777発の花火が打ち上げられ、夜空いっぱい広がる迫力ある花火に、お客様から歓声と拍手が沸いた。

役割

- ① 下流地域の洪水被害を防ぐ
- ② 農地へ農業用水を供給
- ③ 町内の工場へ工業用水を供給
- ④ 水力発電の実施

概要

1981年9月完成（工事期間10年）

事業費 317億円

中央コア型ロックフィルダム

※水をせき止める堤体の中央部分（コア）には止水性の高い粘土を用い、その外側を石や岩で覆っている構造のダム

ダム堤体の長さ 419.6m 高さ 66m

満水時の水面の面積 2.7km² 延長 9.0km

総貯水容量 50,000,000m³

ダムに注ぐ上流域の面積 205km²

写真提供／国土交通省東北地方整備局最上川ダム
統合管理事務所白川ダム管理支所

第1章

白川ダムの力

高まるダムの役割

ダム建設の賛否が議論される昨今においても、白川ダムは寡黙にその役割を果たし続けてきた。洪水から地域を守り、田畑を清らかな水で潤す。さらに水力発電で電気を作りだす。町のみならず、置賜白川と最上川流域の住民にとって、なくてはならない存在である。

幸いにして、町は昭和42年の羽越水害から大きな洪水に見舞われたことはない。これまでも大雨を経験してきたが、ダムの洪水調節が功を奏してきた。白川ダムは、羽越水害を教訓に貯水容量などが計算され、建設されている。

しかし予断は許さない。毎年全国でゲリラ豪雨と呼ばれる局地的な雨が冠水や土砂崩れなどの被害をもたらし、人命さえも奪い去っている現状があるからだ。ダムの役割が高まる一方で、水害の安全対策について、白川ダム管理支所の庄子克実支所長は「自分の身は自分で守り、地域でお互いに支え合う。そのような日ごろの備えが大切」と話す。

ダムが及ぼす自然環境への影響についても社会の関心は高い。国土交通省は、「河川水辺の国勢調査」と称し、5年または10年ごとに魚類、鳥類、植物などに分けて

生息・生育状況を調査している。生態系の変化を長期的に捉える試みだ。ちなみに現在、白川ダムと周辺の河川には、約30種類の魚が確認されている。

直面する課題

30年の長い年月が経過し、課題も浮き彫りになっている。

一つ目は、下流の環境の変化。ダムから放流された水にはほとんど石や土砂が混ざらない。ダムでせき止められてしまうからだ。川に堆積した石や土砂は、魚たちのすみか。しかし、その土砂などが減り続け、川底が下がってきているという。そのため、川の中に柳などが繁茂する樹林化が進み、河原が減少している。

二つ目は、設備の更新。まだまだダムの機能は果たせているが、白川ダムの長寿命化対策を検討し、老朽化した部分を更新していかなければならない。しかし、特殊な施設だけに相当の費用が必要となる。

「今、ダムの総合点検を行っています。更新計画をしっかりと立て、将来、負担とならないようにしなければならぬ。なぜなら世代が代わろうともずっと活躍しなければならぬ重要な施設だから」庄子支所長はそう言って表情を引き締める。

国土交通省東北地方整備局
最上川ダム統合管理事務所 白川ダム管理支所
飯豊町大字高峰4215 ☎75-2131

イベント情報も掲載、公式ホームページ

最上川ダム統合管理事務所

検索

interview

Shoji Katsumi

国土交通省東北地方整備局
最上川ダム統合管理事務所 白川ダム管理支所

庄子克実 支所長

しょうじ・かつみ◎1964年2月、秋田県生まれ。82年建設省入省。東北地方整備局河川部、酒田河川国道事務所などを経て、09年4月より現職。「住民の声をしっかり聞いて誠実な対応」をモットーとする。趣味は野球観戦で楽天ファン。居住は仙台市で、現在は長井市に単身赴任

上流・下流の区別なく、ダムを有効活用して欲しい

白川ダムが、上流域と下流域を二分するものではなく、町内の一施設として町全体の発展に役立つ存在でありたいと願っています。もし住民の皆さんで、ダムや湖を有効活用した地域活性化の取り組みがあれば、白川ダム管理支所としても相談に応じて、可能な限り協力を惜しまないつもりです。

これまでも白川ダムでは、中津川地区のSNOWえっくフェスティバルや雪祭りなどを共催し、当地区の交流人口の増加を目指してきました。さらに下流域の高峰地区の皆さんとは、置賜白川の河川敷の支障木を共同作業で伐採し、川の景観美化に務めています。

また、ダムに漂着した流木を木

質ペレット製造過程の燃料として町バイオマス製造施設で活用してもらい、町を目指す資源循環型社会の形成に役立てています。このように白川ダムは、水害から住民の生命と財産を守るという最重要課題を果たしながら、町と地域と共に歩み続けています。

白川ダムでは、完成30周年行事として、ダムの役割を多くの方に知ってもらおうと町内の施設でパネル展の開催を企画しています。ぜひお越しください。また、ダムの維持管理には日々監視の目を光らせていますが、もし町民の皆さんでダム周辺の異常にお気づきになりましたら、どうぞ白川ダム管理支所までご連絡ください。

洪水を阻止せよ！

降雨時の対応



白川ダム管理支所操作室

大雨などの情報を察知

白鷹山のレーダー局で察知した降雨状況は、常時白川ダムに送信されてくる。雨雲の動きを予測し降雨に備える。



白川ダム管理支所操作室

ダムへの流入量を予測し、放流する量を決定

上流域の降水量からダムに流入する量を予測し、下流の白川・最上川へ安全に放流できる水量を決定。



白川原警報所
(飯豊橋付近)

関係機関に情報伝達、河川付近に警報

放流前、役場や消防署など約12の関係機関へ放流の連絡。さらに河川では警報所のサイレンを鳴らし、周辺に注意を呼びかける。



白川ダム放流ゲート

ダム放流操作開始

上流から流れ込んだ雨水をダムの貯水池に溜め、下流に流しても安全な分だけを放流していく。毎年5月中旬ごろからダムの水位を下げ、夏の梅雨や台風に備えている。

●過去6年間の洪水調節の実績

洪水年月日	洪水要因	最大流入量	最大放流量
平成16年7月13日	梅雨前線	214m ³ /秒	139m ³ /秒
平成16年7月17日	梅雨前線	311m ³ /秒	210m ³ /秒
平成17年4月8日	融雪	240m ³ /秒	19m ³ /秒
平成17年6月28日	梅雨前線	270m ³ /秒	201m ³ /秒

洪水年月日	洪水要因	最大流入量	最大放流量
平成18年7月15日	梅雨前線	462m ³ /秒	217m ³ /秒
平成18年9月7日	秋雨前線	208m ³ /秒	16m ³ /秒
平成19年8月30日	秋雨前線	206m ³ /秒	110m ³ /秒
平成21年2月14日	低気圧	223m ³ /秒	131m ³ /秒

癒しの空間として 白川ダムサイト公園

view point

白川ダムのさらなる力は、風景から得られる「癒しの効果」。お薦めは、国と町が管理する白川ダムサイト公園からの眺め。公園は、白川ダム管理支所に隣接する。支所の職員、渡部麻衣さん(萩生)と橋本良枝さん(中)は、「公園には家族連れだけでなく、若い人たちもデートで訪れているようです」と話す。園内の木陰のベンチに座り、白川ダムのダイナミックな景観を望めば、心の疲れが癒されてゆく。

写真/白川ダムサイト公園で談笑する渡部麻衣さん(左)、橋本良枝さん(右)



概要

1980年2月操業開始

事業費 23億1,900万円

最大発電 8,900kW

平成21年度の供給電力量 32,330,327kWh

約9,600世帯分に相当

※標準世帯（夫婦と子ども2人）の電力使用量280kWh/月と想定して換算

平成21年度の電気売却収入 2億2,600万円

第2章

白川発電所 究極のクリーン エネルギー

生活を支える大きな存在

白川ダムの大きな役割の一つが水力発電。実際に電気を作るのは、ダムと直結する白川発電所である。山形県企業局置賜事務所がその維持管理を担う。発電所に職員は常駐せず、米沢市の事務所から通信回線で監視。施設の点検は、職員が月2回訪れて実施する。

山形県企業局が管理する水力発電所は14カ所。白川発電所はそのうち10番目に作られた施設だ。置賜事務所施設管理課の渡辺忠志主査は、「白川の豊富な水に恵まれ、県内の施設では、最大の使用水量を誇る発電所です」と胸を張る。作られた電気の98%は、民間の電力会社へ売却される。残りの2%は、白川ダムと発電所の運転のために使う。電気は、送電線を通じて川西町の小松変電所へ。そこから配電線を通して周辺市町の家庭に届く。昨年度に供給した電力量は、世帯数に換算すると、実に約9600世帯分。私たちの生活にとつて、白川発電所がいかに大きい存在かがわかる。

最も環境に優しい発電方式

そして今、水力発電があらためて見直されている。地球温暖化問題など環境意識の高まりで、そのクリーンさに注目が集まる。

水力発電は、水が落下するときの力だけで発電を行う。水車を回した水は白川に戻され、農業用水や水道・工業用水として、人や川に住む生き物のために再利用される。つまり、化石燃料に頼ることなく、自然エネルギーで電気を作り、廃棄物は一切出さない、究極の発電方式といえる。さらに二酸化炭素の排出量はどの発電方式よりも少なく、石炭火力発電所のわずか1・2割の排出量でしかない。

また、風力や太陽光と違い、ダムに貯めた水を利用するので安定した発電ができる。ただし、天候の影響はどうしても避けられない。雪解けの春から初夏にかけては水量が多く、発電量が増える一方、夏から秋にかけては水量が減り、発電量もおのずと減少する。さらに渡辺主査は、「冬季に雨が降ることが多くなった上、雪解け時期が年々早まっていて、水量のピークを迎える時期が早くなっているようです」と気候の異変を指摘する。

そしてダムと同様、30年間の働きで発電所もまた故障の可能性が以前より増している。故障した場合は、発電を停止して修理しなければならぬ。必要な電力量が供給できなければ、住民の生活に打撃を与える。今後、計画的な設備の更新が課題となってくる。

山形県企業局置賜事務所
米沢市笹野町7409-1
☎0238-38-2912

白川発電所
飯豊町大字高峰4233
☎75-2900（常駐職員なし）

interview



Watanabe Tadashi

山形県企業局 置賜事務所 施設管理課

渡辺 忠志 施設管理主査

わたなべ・ただし◎1968年6月、大江町生まれ。94年県庁入庁。旧企業局南部発電管理事務所、旧企業局庄内地区水道事務所などを経て、09年4月より現職。住民の生活を守るため「故障対応は迅速に、とにかく早く」を心がける。趣味はバレーボール。山形市在住

大切な水を無駄にしない、効率的な発電を目指す

山形県企業局は、独立採算制で事業を行っています。発電所で得た収入は、主に発電所の建設費返済、施設修理の費用、人件費などに使われ、余った分は設備の更新のために積み立てられます。

飯豊町へは固定資産税に相当する交付金を納入しています。また、これまで地域貢献の一環として「源流の森」の整備や、白川湖岸公園のテニスコートに照明4灯の設置を行ってきました。

住民の皆さんへお願いしたいことは、川に入る際は、水量の変化に十分注意いただきたいということです。発電所で使う水の量は、天候によって増減します。操作はできるだけ穏やかに、白川に

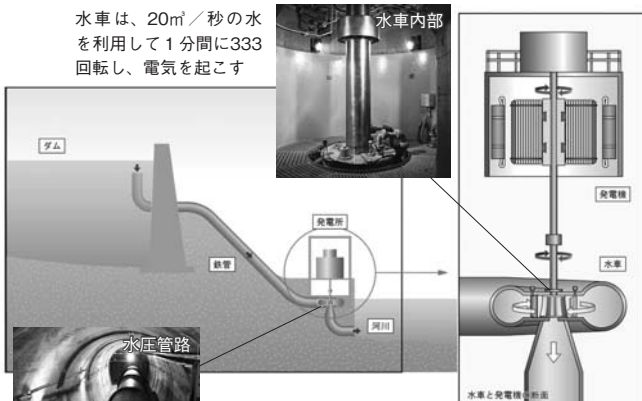
急激な水位変動が起きないように注意を払っていますが、下流では合流する川や沢などが合わさって、大きな水量の変化になることも考えられるからです。

水力発電は、地球温暖化対策のエネルギー政策として重要な選択肢です。しかし、国内にダムを建設できる場所がなくなっており、大規模な水力発電所が建設されにくい状況です。従って、現存する発電所で効率的に発電することが重要です。今後とも白川発電所では、大切なダムの水を効率的に使い、故障・修理などの発電停止による無駄な放流がないよう日々の点検整備を行ってまいります。

電気はこうやってできる

発電の仕組み

水車は、20m³/秒の水を利用して1分間に333回転し、電気を起こす



水力発電は、水が落下するときのエネルギーで発電を行うもの。白川ダムから取り入れた水で水車を回し、水車に接続された発電機も回り電気が作られる。

落差53.5m、毎秒20m³の水の力が合わさって最大8,900kWを発電する。

ダムから発電所へ水を送る管路の長さは約283m。さらに水車を回す力となる落差は53.5mにおよぶ

断トツ少ないCO₂排出量！水力発電

発電方式別の二酸化炭素排出量

clean energy

下記の表は、平成22年7月22日に(財)電力中央研究所が公表した発電による二酸化炭素(CO₂)の排出量(09年時点)である。発電燃料の生産から輸送、廃棄物処分に至るまでのライフサイクルに発生するCO₂排出量を調べたもの。風力や太陽光などの新エネルギーの技術革新が進む中でも、依然として水力発電のクリーンさが際立つ。

発電方式	CO ₂ 排出量	発電方式	CO ₂ 排出量
水力(中規模ダム水路式)	11g	原子力	20g
風力	25g	火力(石油)	738g
太陽光	38g	火力(石炭)	943g
地熱	13g		

数字は、1kWhを発電するために排出するCO₂の量



白川発電所と子育て支援の関係!?

電源立地地域対策交付金

grant-in-aid

白川発電所の立地は、町の「子育て支援」にも実は大きく関係している。それは毎年、国から交付される「電源立地地域対策交付金」。発電用施設が設置されている地域の活性化に役立つ公共施設の整備や福祉サービスの提供などに使うことができる。町では、年額450万円の交付金を「子育て支援」に生かそうと、0~2歳児の乳幼児保育事業に活用。2024年まで交付される。

第3章

回想・ダムができるまで



沿革

昭和42年(1967) 羽越水害
 43年(1968) 白川ダム調査事務所開設
 実施計画調査開始
 45年(1970) 白川ダム工事事務所開設
 用地補償基準妥結
 白川上流再開発協議会設立
 46年(1971) 基本計画告示・建設工事着手
 51年(1976) とよさと荘オープン
 54年(1979) 試験湛水開始
 55年(1980) 白川ダム完成
 白川ダム湖岸公園完成

56年(1981) 建設工事完了
 白川ダム管理所開設
 57年(1982) 白川荘オープン
 58年(1983) 全国白川ダム湖畔マラソン大会開始
 平成3年(1991) SNOWえっぷフェスティバル開始
 5年(1993) 砂防ダム完成
 9年(1997) 源流の森オープン
 11年(1999) ホテルフォレストいいで完成
 木湖里館オープン
 17年(2005) 白川ダム水源地域ビジョン策定
 白川ダムビジョン推進会議設立

recollect

元白川ダム対策同盟連合会会長 男鹿久人さん

地権者の代表として行政側と交渉 故郷を移転するまでの経過を振り返る

50年近く暮らしてきた小坂集落の写真を差し出すと「ここに写っているのが私の住んでいた家です」と男鹿久人さんは指差しながらうれしそうにほほ笑んだ。男鹿さんは、今年で87歳。飯豊町から山形市に移転して38年が経過した。自給自足の生活のようにして、小坂集落約30戸は、農業と林業を生業にのどかに暮らしてきた。「ウサギや山鳥を鉄砲で狩りするのが楽しかった。熊を仕留めたこともある。それがまたおいしかった」と男鹿さんは懐かしむ。しかし、小坂集落もまた昭和16年の太平洋戦争勃発により環境が一変する。男鹿さんも入隊し、中国の戦地に赴く。そこで地雷を踏み、全身に大けがを負った上、左手を失った。そして終戦。戻ったとき、村はすっかり疲弊していた。村の復興を目指し、昭和27年に中津川村議会議員に立候補して初当選。以降、農林業にいそしみながら村議、町議として奔走する。30年代後半から、かねて議論に上っていたダム建設の話が現実味を帯び始める。昭和40年、長井市に建設省白川ダム調査出張所が設置された。一部の集落ではダム絶対反対の声が上がるも、小坂・

須郷・数馬の部落が「白川ダム対策同盟連合会」を設立する。部落の全戸が加盟した。建設に向けた調査が進んでいた昭和42年、集中豪雨・羽越水害が町を襲う。災害復旧が優先され、ダム建設の話し合いは一時中断となったが、治水対策としてダムの必要性が高まる流れとなった。同年8月、建設省との交渉に立つ三代目の白川ダム対策同盟連合会の会長に男鹿さんが選ばれる。「選ばれた理由は、同じ建設用地となった高峰地区に親戚や知り合いが多かったことです。地元の中津川とどちらにも通じていると、それに当時の樋口俊三町長からもぜひ力になって欲しいと請われて」と男鹿さんは振り返る。実はこの時点で多くの住民は、移転の方向に傾いていたと、男鹿さんは吐露する。若者を中心に、山間地での農業に見切りをつけ、損失補償で得たお金での生活再建を望んでいた。男鹿さん自身、失った左手を見つめ、「農業と林業で生計を立てるには限界を感じていた」と話す。昭和45年、白川ダム調査事務所は「工事事務所」に名称が変わり、ダム工事は決定的となった。つい

白川ダム建設時の思い出

recollect

いいでフォトクラブ副会長

やまぐち きちう えもん

山口吉右衛門さん・宇津沢



山口さんが撮影した昭和47年ごろの白川ダム建設工事の様子

バイクで現場を走ると体中が真っ白

ダムがどうやって造られるか、だれも想像できませんでした。実際、工事は想像以上にスケールの大きなものでした。今まで見たこともない大きな重機が急な山の斜面をぐんぐんと駆け上り、たちまち山を切り崩していきます。圧倒されるとともに、ダムを造るということは、大規模な国家プロジェクトなのだかと肌で感じたものでした。そのような大胆な工事でしたから、土砂

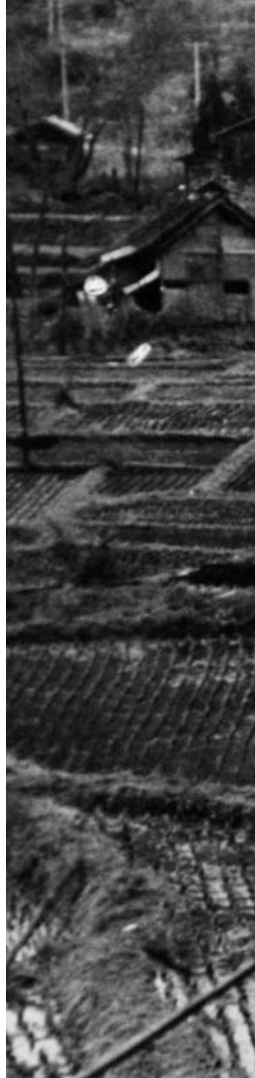


Yamaguchi Kichiemon

崩れは頻繁だったようで、たまたま通りかかった車が土砂に巻き込まれ、犠牲者が出た事故もあったと記憶しています。

私も工事の様子を写真に撮ろうと、バイクで現場に向かうと、未舗装だった道は砂煙が舞い上がり前が見えないほどでした。ようやくたどり着けば、体中が砂で真っ白になっている有様です。

また、ダムの建設工事では、地元の中津川と高峰地区から女性も含め多くの方が現場で働き収入を得ていました。それはちょうど昭和42年に起きた羽越水害の復興工事と間をおかずして始まり、そこで得た土木作業の経験を生かすことができたからのようです。



Oshika Hisato

おしか・ひさと◎1922年8月、飯豊町大字小坂生まれ。中津川村議会議員、飯豊町議会議員などを歴任。67年8月から白川ダム対策同盟連合会会長に就き、用地補償調印までの3年間、地権者の代表として建設省との補償交渉にあたる。ダム建設に伴い、72年に妻と共に山形市へ移転。現在も山形市の自宅で余生を送る

に補償交渉が局面を迎える。男鹿さんが目指したのは「早期決着」だった。交渉が長引き、ダム建設自体が立ち消えになったら、住民の生活再建が狂ってしまう。そんな不安が常に胸をよぎる。人々の間では次の仕事を探さなければならぬとの焦燥感があった。しかし、補償の交渉は簡単ではない。土地の取得から農業補償、仮住居補償までと多岐にわたる。地主と小作人との関係も難しい。同盟連合会では、補償について自ら勉強を重ね、その上、研究成果を建設省に提出するほどだった。「とにかく正直に、粘り強く行政と話し合いを続けるしかありませんでした。なにせ後ろには139の家族がいましたから」

男鹿さんや関係者の苦労が実り、昭和45年に建設省が補償方針を発表すると、わずか3カ月のスピードで交渉は成立した。同年、安孫子藤吉県知事や樋口町長などが立会い、さらに同盟連合会全員が見守る中、山形県農協会館で男鹿さんと建設省東北地方建設局長が調印。「故郷を去るのは寂しい。でも新しい生活へと気持ちを切り替えなければならぬ」と男鹿さんはその時の心境を振り返る。ほとんどの人が満足のいく補償だったとの達成感も。昭和47年、補償妥結により139戸が移転。そのうち男鹿さんを含む128戸が飯豊町を去った。同年、家屋のほとんどが解体され、ダムの工事が始まった。



SNOWえっぐフェスティバル会場
ボランティアに励む地元の高校生たち

第4章

地域とつながる・広がる

白川ダムと密接にかかわる地元のリーダーに聞く。

高峰地区協議会 やま ぐち たけし 山口 健 会長

ダムと築く互恵の関係

高峰地区は、白川ダム建設に伴い大鹿、中ノ沢、洗尾など6つの集落が水没し、多くの住民が移転した歴史を持ちます。建設の話が出た当初、ダムという漠然とした存在に対し、住民の間では「ダムができて何になるんだ」という反対論もありました。その意見が一転したのが、昭和42年の羽越水害です。私が25歳のときでした。家の1階がすっかり冠水し、米や布団など生活に必要な家財道具をすべて2階に投げ上げ、停電した真つ暗闇で家族と不安な一夜を過ごしたのを覚えています。この水害で地元でもダム建設の機運が一気に高まりました。

おかげさまで30年間、私たちは大きな水害から守られてきました。しかし、下流では異変も起きています。白川の川底が下がり始めているのです。砂や石がダムでせき止められ、下流まで流れ落ちてこないことが原因です。魚はすみかを失い、川底の岩盤があらわになっっている箇所もあります。

高峰地区協議会では、かつての川の景観を取り戻そうと、白川ダムの関係者の皆さんと協力し、環境美化に取り組んでいます。洪水調節による生活の安全や安定した農業用水の確保は、ダムのおかげ

中津川むらづくり協議会 たか はし まこと 高橋 亮 会長

ダムをてこにした地域発展

白川ダムの建設中、私は中学から高校へと多感な時期にありました。「ダムができれば上流の集落は終わる」と大人たちの悲観の声を聞き、水没によって集落を去った友人や親戚の姿を見て、将来へ不安を募らせたのを思い出します。しかし、多くの先輩方は、ダムの存在をてこにし、地域の発展を目指してきました。それが白川ダム上流地域再開発協議会の設立となり、今の中津川むらづくり協議会へと流れをくみます。「中津川をなんとかしなければ」という思いが一致し、中津川全体の結束が固まった契機とも言えます。

完成から30年が経ち、ダムは中津川地区にとって、無くてはならない存在となりました。ダムと共に整備された県道は、住民生活の利便性を高め、さらに若者の通勤圏を広げたことで雇用の機会を与えてくれました。個人的な所感として、もしダムがなかったら、中津川の過疎はさらに進行していたのではないのでしょうか。

さらに、白川湖畔を中心に観光施設が整備され、町内外から多くのお客様が訪れてくださるようになりました。今後は、農家民宿、中津川財産区の山をはじめとし、さらに上流域の地域資源を生かし

●ダムが呼び起こす地域の元気！

dam and people

町内では、地域の人たちと町、そして白川ダムの関係者が協力し合い、さまざまなイベントや活動に取り組んでいる。ダムを中心とした“にぎわい”の一部を紹介。



SNOWえっぐフェスティバル

毎年恒例の雪を使った夏の祭典は、今年で20周年を迎えた。主催は中津川地区の有志の皆さん。白川ダム管理支所も雪コートや滑り台、パネル展などを設けてダムをピーアール。



白川湖畔自然観察会

白川ダムを中心とした水源地域と白川流域の活性化を目指す白川ダムビジョン推進会議が、四季ごとに開催。今まで知らなかった自然の姿に気づき、さわやかな感動を与えてくれる。



全国白川ダム湖畔マラソン大会

白川ダム管理支所では、毎年コースとなる県道や「源流の森」散策道の除雪と清掃作業などに協力。ランナーが美しい湖畔の周りを気持ちよく走れるようにと一役買っている。



Yamaguchi Takeshi

やまぐち・たけし◎1942年2月、高峰生まれ。高峰地区協議会会長のほか西部地区公民館長、手ノ子小後援会会長も務める。趣味は、始めて3年目になったというパークゴルフ。農業

interview

という視点に立ち、住民とダムが
お互いの便益を高め合っていてゆく
「互恵の関係」が大切だと感じて
います。そんなこともあって、近
年では白川ダム管理支所職員と地
元住民との交流会を設けています。
信頼関係を大切にして、地元にと
って有益となるダムの将来像を
一緒に描いていきたいという願い
を込めています。



Takahashi Makoto

たかはし・まこと◎1954年7月、白川生まれ。中津川むらづくり協議会会長のほか中津川地区体育協会会長、西置賜ふるさと森林組合理事も務める。趣味は、バイクでのツーリング。会社員

interview

た新しい観光の広がりや課題だと
考えています。
中津川地区では、地域の役員や
若者のリーダーなどが参加し、毎
年、白川ダム管理支所職員と意見
交換を行っています。互いに顔を
合わせて率直に地域とダムの将来
について語り合うことは、とても
大切であり、今後も継続していき
たいと思っています。



中津川雪祭り

中津川地区の冬のイベント。毎年、白川ダム管理支所では、巨大滑り台を設置し、共に祭りを盛り上げる。昨年は、すべり台競技大会を開き、子どもから大人まで楽しめる場を提供した。



置賜白川景観美化活動

高峰地区協議会と白川ダムビジョン推進会議は協力して、下流の置賜白川の美化活動に取り組む。支障木を伐採した広場には、木の切り株のいすを設置し、憩いの場に仕上げた。



置賜白川水質調査・水生生物調査

白川ダムビジョン推進会議では、毎年、子どもたちによる置賜白川水質調査・水生生物調査を開催。7月8日には、ダムの上流・下流の3カ所で手ノ子小と中津川小が協力して調査した。

まちかどニュースは、皆さんの広場です。
地域のできごとやご意見などお気軽にお寄せください。
役場総務企画課総務情報室まで ☎72-2111内線224



めざみの里カンタート

日本屈指の音楽家が合唱を指導

7月10日と11日にかけて、町民総合センター「あ～す」で、めざみの里カンタートが開かれました。県内外の合唱団など16団体が参加。日本を代表する音楽家、池辺晋一郎先生（作曲家）、栗山文昭先生（合唱指揮者）、村田さち子先生（作詩家）、横尾佳子先生（発声指導者）、齋木ユリ先生（ピアニスト）を講師に迎え、ユーモアたっぷりに合唱を指導。参加者は、発声・指揮法など各レッスンにて豊かな合唱表現を学びました。そのほかコンサートやコンクールも開かれました。



永年勤続優良社員表彰・新規学卒就職者激励会

勤労の尊さを再認識



7月21日、町民総合センター「あ～す」で、永年勤続優良社員表彰式・新規学卒就職者激励会がありました。町内事業所で長年勤続されている7名の方々に表彰状と記念品が、さらに町内事業所に就職された22名の新規学卒者の皆さんにも、記念品が贈られました。あいさつに立った飯豊町商工会・鈴木忠好会長は、「皆さんには町の産業発展の礎を築く^{いしすえ}気持ちでがんばって欲しい」と激励されました。

手ノ子地区協議会主催「ホタル祭り」

「音楽とホタル」幻想の夕べ



7月3日、手ノ子駅近隣の広場を会場に、手ノ子地区協議会雁沢部会主催のホタル祭りが開かれました。祭りは、伊藤照美さん(椿)のマリンバ演奏で幕を開け、優しい音色とともに夕闇が降りると、メインのホタル・ウォーキングへ。夜空に舞い踊るたくさんのホタルを目の当たりにし、集まった大勢のお客様から歓声が上がりました。当地区のホタルは年々数が増え、“にぎわい”の大きな力になりそうです。



第一小「ユリ活動」

児童たちがユリで地域に貢献

7月9日、第一小の5・6年生の児童72名が、「ゆりの幸せ配達人活動」を行いました。校内で育てたユリの花を地域でお世話になっている施設やお店、一人暮らしのお年寄りの方に届ける取り組みです。児童たちは班に分かれ、一軒一軒、「いつもありがとうございます」「長生きしてください」などと言葉を添えて、花束を渡していました。ほかに第一小では、どんでん平ゆり園でのトランペット鼓隊演奏など、ユリにかかわる活動を通し、地域の“にぎわい”に貢献しています。

町PTA研修会「天文講演会」

天文学の最先端を学ぶ



7月3日、町民総合センター「あ～す」で天文講演会がありました。町PTA研修会として、町PTA連絡協議会と町教育委員会が主催。保護者や児童など約200人が参加しました。講師は、国立天文台の渡部潤一准教授。渡部さんは、日本の小惑星探査機「はやぶさ」の偉業達成の経緯や米国の火星探索の現状など、最先端の宇宙研究をわかりやすく解説。参加者は、宇宙のロマンに思いを馳せながら耳を傾けていました。

夏川りみ VOICE PARTY

飯豊に沖縄のリズムと熱気を



7月9日、「あ～す」イベント企画推進スタッフ主催の夏川りみコンサートが開かれました。約540人のお客様で会場は満員。沖縄の鮮やかな民族衣装で現れた夏川さんは、ヒット曲「涙そうそう」など18曲を熱唱しました。心温まる沖縄民謡が披露されると、お客様も一緒になって手振りをし、会場は熱気に包まれました。アコースティックの伴奏と素敵な歌声で終始会場は大きな拍手と歓声に沸いていました。



第28回山形県交通安全母の会
大会 (あ～す)



飯豊町戦没者追悼式
(あ～す)



町内の保護司の皆さんによる
「社会を明るくする運動」(町内)

町総合防災訓練

8 / 29日 AM 7:00 ~

会場 添川小学校

町総合防災訓練は、震度6強の直下型大地震が発生したことを想定し行われます。住民の皆さんの避難方法・自主防災体制、そして町や消防署などの行政機関による初動体制、応援体制などを確認する重要な訓練です。

地域と行政機関との協力体制を円滑にし、共に防災意識の高揚を目指します。今年は、東部地区を対象に実施されます。多くの皆さんに訓練に参加していただき、「災害に強いまちづくり」を推進しましょう。

- ◆日時 / 8月29日(日) 7:00~11:30
- ◆主会場 / 添川小学校とその周辺
(対象地区:東部地区)
- ◆訓練内容 / 住民避難訓練、避難所設置・運営訓練、初期消火訓練、水防訓練、救出・救護訓練、火災防御訓練など ※どうぞ閉会まで参加・見学ください
- ◆その他 / 早朝からのサイレンなどでご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします
- ◆問合せ先 / 役場住民税務課生活環境室
☎72-2111内線131、133



いいで応急手当普及員会と西置賜行政事務組合消防署による救出救助訓練、濃煙テント体験、防災ヘリ「もがみ」による救出救助訓練、NTT災害伝言ダイヤル訓練なども行われます。対象地区以外の方の見学も可能です。ただし、駐車場や交通の一部に規制がありますのでご注意ください。



防災ヘリ「もがみ」

No.1

消防・防災活動に大きな支え 町内3事業所が消防団協力事業所に認定



認定された町内3事業所へ認定証を手渡す後藤町長

7月1日、町内の3事業所が消防団協力事業所認定を受けました。認定されたのは、豊川建設(株) (手ノ子)、樋口建設(株) (萩生)、(株)ヤマキチ (同) の3社。この認定には、従業員が2名以上入団していることや、災害時の資機材提供の協力などの要件があります。3社はこれらに適合し、これまでも町の消防活動に積極的に協力されています。交付式は役場で行われ、後藤町長が普段の協力への謝辞と共に、各社に認定証を手渡しました。樋口建設(株)の高橋司常務取締役は「認定の重みを感じるとともに、災害時には自覚を持って、会社として積極的に協力していきたいです」と話されました。

No.2

機敏で力強い操法を披露し見事優勝 第4分団第3部第1班が消防操法大会西置賜支部大会優勝



後藤町長に優勝の報告をした第4分団第3部第1班の皆さん

7月11日、長井市の西置賜行政組合消防本部で県消防操法大会西置賜支部大会が開かれ、小型ポンプ積載車の部に町代表として出場した第4分団第3部第1班が見事優勝を果たしました。大会後、班員は優勝の喜びを後藤町長に報告。「緊張を乗り越え、よくがんばりましたね」と後藤町長が選手をねぎらうと、安部一博班長(小白川)は「仕事の後、每晚10時まで練習をしていました。練習には選手以外の班員も全員参加してくれました。みんなの協力があって優勝できたと思います」と話されました。大会ではそのほかポンプ車の部で、初出場の第4分団第1部第1班が3位となり、堂々の結果を残しました。

No.3

備えあれば憂いなし 中ノ目南自主防災会が宝くじ助成事業で自主防災資器材整備



整備された自主防災資器材の見学に訪れた地域住民の方々

中ノ目南自主防災会では、災害時の自主防災体制の強化を図るために発電機や投光器、ヘルメットなど約30点の資器材を整備しました。事業費は約160万円で、宝くじ助成事業の助成によるものです。実は、過去3年間で3回申請してようやくかなった認定でした。高橋利一会長は、「このたびの資器材の整備によって、地区ではさらに実際の災害時に近い訓練をすることができると思います」と今後の活動の抱負を話してくださいました。7月4日には、萩生東部公民館を会場に、資器材をすべて展示して地区住民に公開。多くの方が訪れ、備品を手にとって興味深そうに見学していました。

直伝おふくろの味



うるいの山椒味噌和え

中津川の山の恵みを味わう

【材料】(一皿分)

- ◇ウルイ 200g
- ◇味噌 30g
- ◇砂糖 20g
- ◇クルミ 少々
- ◇山椒の葉 7枚

【作り方】

- ①ウルイはやや固めにゆであら、水を切り、食べやすい大きさに切る。
- ②すり鉢で味噌、砂糖、クルミ、山椒の葉をすり合わせる。
- ③①と②を混ぜ合わせて出来上がり。

※山椒の葉の枚数は好みに合わせてください。



中津川地区
食生活改善推進員
伊藤信子さん

農家民宿のお客様にとっても喜ばれています

ウルイは、5月から6月の山菜ですが、中津川の自然の恵みの豊かさを伝えたく、この料理を紹介します。材料の砂糖以外はすべて地元のもので、ウルイとクルミ、山椒は家の畑や近くの野山から採り、味噌は手作りで、私たちの農家民宿を訪れるお客様は、この土地でしか食べられないこのような料理を大変喜んでくださいます。あらためて中津川地区の食材の豊かさを感じます。

料理のポイントは、ウルイをゆですぎないことです。柔らかすぎると山椒味噌と和えるとき、ウルイの形がくずれてしまいます。

山椒味噌は、冷奴や焼き魚にのせて食べるなど、いろんな料理に活用できます。どうぞ、お試しください。



こどもみらい館の予定表
(8月・9月の日程)

会場/☆印は「あ～す」
ほかは「こどもみらい館」

- 8月18日(水) 10:30～ おはなし広場
- 24日(火) 10:30～ 交通安全指導
- 26日(木) 10:00～ かんがるー広場
- 9月4日(土) 10:00～ 親子でボール遊び
- 7日(火) 10:30～ あそびの広場
- 9日(木) 10:00～ 4歳児リトミック☆
- 10日(金) 10:30～ 保健師さん指導



親子でボール遊び

9月4日(土) 10:00～こどもみらい館

「めざみの里まつり」の日、こどもみらい館では1歳以上の親子を対象に楽しいボール遊びを開催します。要予約。

講師は、健康運動指導士 小池敏子先生

episode

子育て応援
kosodate
ouendan 談

子育てを楽しめる今を大切に
「父親の子育て大賛成」

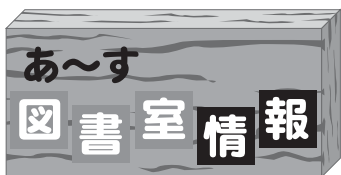
我が家のお父さんは、子どもたちとの時間を大切にしてきた。夕方、仕事でくたくたになって帰ってきて日も暮れるまでたわむれ、「疲れが吹っ飛ぶ」が口癖に。いつも寄り添っていた。

その子どもたちが親元を離れ、幾年が経つ。思うのはいつも子どもたちと過ごした日々のことばかり。「夫婦と一緒に子育てをしている」という意識を持てると、親は子どもに対して温かい態度で接することができるという。それは、子どもの心の健康を高めることにつながる。まさしく、お父さんの子育て参加は良いことづくし!

大人になった子どもたちにも、心の中にある父親の存在はいつまでも大きいはず。若いお父さん、忙しいけれど今を大切に。子どもたちが巣立つ前に、子育てを十分楽しまなくっちゃ!

● 役場教育文化課子育て支援室
TEL72-2111内線163・167

● こどもみらい館
TEL72-3336



今月の
おすすめ図書

児童図書

「ちいさなあめふりぐも」

せなけいこ/作・絵 鈴木出版

3匹のネコが楽しそうに遊んでいると、好奇心の強い、小さなあめふりぐもがやってきました。ただ仲間入りしたいだけなのに、あめふりぐもが近づくと雨になってしまい…。雨の日が楽しくなる絵本。

児童図書

「はなかつぱのだいぼうけん」

あきやまだし/著 メディアファクトリー

頭に「とりあえずの花」が咲いている、はなかつぱくん。将来、何のお花を咲かせて、どんなおとなになりたいかな? はなかつぱくんは、世界の花を見てまわることにしました。

一般図書

「体脂肪計タニタの社員食堂500kcalのまんぷく定食」

タニタ/著 大和書房

体脂肪計シェアナンバー1の(株)タニタの社員食堂の定食レシピ31日分を収録。肉も野菜もたっぷり、おいしさ・ボリュームをそのままに、カロリーダウン、塩分ダウンなどのコツを紹介する。

一般図書

「僕は長い昼と長い夜を過ごす」

小路幸也/著 早川書房

50時間起き続け20時間眠る特殊体質の明二は、「監視」のバイトで2億円を拾い、裏世界の金融事情に足を突っ込むハメになってしまう。『ミステリマガジン』連載を加筆訂正して単行本化。

- 開館時間 午前9時～午後6時(6月～10月)
※13日(金)・土・日曜日は午前9時～午後5時まで
- 休館日 毎週月曜日・祝日
- 問合せ先 町民総合センターあ～す図書室 TEL72-3111

ようこそ！ わたしたちの倶楽部に

スポーツ、音楽、芸術、史話、ボランティアなど町内には活動団体がたくさんあります。このコーナーでは、そんな皆さんの活動を紹介していきます。



シリーズ第1弾：スポーツ少年団

飯豊町陸上

- ◆監督／菅野学さん(中)
- ◆コーチ／飯豊町陸上競技協会の方々
- ◆団員／18名
- ◆練習日／木曜日(8:30~11:30)
土曜日(夏15:00~17:00、冬9:30~11:30)

●スポーツ少年団入団などのお問い合わせは、町教育委員会内スポーツ少年団事務局まで☎72-3086(町民スポーツセンター)

- ◆練習場所／第二小体育館、飯豊中グラウンド
- ◆団員募集対象／町内小学生・男女・中学生可
- ◆クラブのピーアール

走る、飛ぶ、投げる。陸上は、あらゆるスポーツの基礎となるものを備えています。昨今、子どもたちの走力や持久力が低下している中、陸上競技が見直されています。2005年に設立された飯豊町陸上も着実に団員を増やし、大会の上位に食い込むぐらいレベルも伸びています。チームのモットーは、「楽しく心と体を鍛える」。子どもたちは目標を持って、今日もグラウンドを一生懸命に駆けています。



菅野監督にとって
陸上競技とは…

子どもたちに人との出会い
を与え、体と心を成長させてくれるスポーツ

◀菅野学監督

連載 随想 町長の思ひ歩き 16

後藤 幸平

「白河以北今昔」
このところ立て続けに上京の機会があった。遠くに出張すると新聞の一面に載る。「見える化」が望まれる世相だから、行動が新聞に載るのは影響力がある。「忙しそうだね」、「身体に気をつけてがんばってな」と励まされたりする。

先日、東北ダム事業促進連絡協議会と東北直轄河川治水期成同盟会の理事会と総会、意見交換会、要望活動と全国散居村サミットの総会が東京で相次いで開催された。日常の慌ただしさから離れ列車に乗るのは、通いなれた路線とはいえ楽しみなもの。家にいるときは見向きもしない書物も列車に揺られ車窓の風景を時折眺めながら読み進むことができるというの不思議な体験である。

上りの列車で南に向かうときの気分と下りの列車で北に向かうときのの違いは何なのだろうなどつまらぬことを考えてみたりする。そういえば北を歌った歌には、男女の別れや傷ついた心のテーマが大半だ。『津軽海峡冬景色』などはその代表

格だろう。その対極は『あこがれのハワイ航路』か。悔しいが南は明るいイメージが多い。何故だろう。東北の意地を表す語に「河北新報社」の社名の由来がある。戊辰戦争直後のことだ。「白河以北一山百文」と東北を荒涼とした地方と早とちりした新政府の誰かが口走ったという。その屈辱を忘れてはならない、いつの日か必ず東北を陽の当たる場所にとの思いを社名にしたのだ。東京での会合に参加して、そんな東北人の今昔の感を強くした。

それぞれの市町村長の歯切れの良い発言、ほとんど標準語だし淀みがない。「お城と桜、ねぶたとりんごの里、弘前市です」と皮切りに述べられたから、少々慌ててしまった。自分の番にきたら何と言おうか。

「東洋の桃源郷飯豊は日本の原風景散居村とつや姫と米沢牛、音楽と荒獅子まつりの里、にぎわい再現のまち」と言おうとドキドキして待ち構えていたが、ついに発言を求める指名は来なかったのだった。

飯豊町における 参議院議員通常選挙開票結果

投開票日 7月11日



町内の投票率は71.2% 期日前投票は568人が利用

参議院議員通常選挙は、6月24日に公示され、民主党政権初の国政選挙として国民の高い関心が集まりました。

投票は7月11日に行われ、同日に白樺地区公民館体育館で開票されました。町内の投票率は、山形県選出が71.27%、比例代表は71.26%でした。平成16年の参議院議員通常選挙

の投票率66.3%を大きく上回りました（3年前の参院選は、町議会議員選挙とのダブル選挙で85.44%）。

さらに6月25日から7月10日までの間、「福祉の里めざみ（町社会福祉協議会）」を会場に行われていた期日前投票では、有権者の約1割にあたる568の方が投票しました。

県選出議員選挙 候補者別得票数

(敬称略)

候補者名	得票数
川野 裕章	553票
太田 俊男	132票
岸 宏一	2,037票
梅津 庸成	2,127票
無効票	78票
合 計	4,927票

比例代表政党別得票数

政党名	得票数
幸福実現党	10票
みんなの党	541票
民主党	1,408票
女性党	44票
自由民主党	1,405票
新党改革	43票
社会民主党	230票
たちあがれ日本	35票
日本創新党	278票
国民新党	147票
公明党	466票
日本共産党	90票
無効票	229票
合 計	4,926票

投票所別投票者数・投票率(県選出議員選挙)

投票区	投票所の施設名	当日 有権者数	投票者数	期日前投票 投票者数	不在者投票 投票者数	投票率
1	萩生東部公民館	877人	488人	88人	5人	66.25%
2	中部地区農村活性化センター	1,170人	666人	111人	28人	68.80%
3	中公民館	839人	548人	83人	4人	75.69%
4	白樺地区公民館	1,070人	648人	93人	6人	69.81%
5	西部地区農村活性化センター	558人	394人	25人	0人	75.09%
6	高峰地区多目的集会所	378人	262人	18人	5人	75.40%
7	小白川公民館	545人	358人	57人	1人	76.33%
8	東部地区公民館	943人	529人	66人	12人	64.37%
9	松原公民館	202人	154人	12人	3人	83.66%
10	高齢者介護予防センター	227人	162人	8人	5人	77.09%
11	岩倉地区多目的集会施設	80人	61人	4人	2人	83.75%
12	小屋防雪センター	24人	18人	3人	0人	87.50%
	合 計	6,913人	4,288人	568人	71人	71.27%

飯豊町役場

電話 0238-72-2111
FAX 72-3827
ホームページ www.town.iide.yamagata.jp
Eメール iide-info@town.iide.yamagata.jp



「あ～す」	☎72-3111	社会福祉協議会	☎72-3353	東部地区公民館	☎74-2447
町健康福祉課	☎86-2233	ひめさゆり荘	☎74-2011	西部地区公民館	☎75-2111
介護老人保健施設	☎86-2117	スポーツセンター	☎72-3086	中津川地区公民館	☎77-2020
国民健康保険診療所	☎72-2300	中部地区公民館	☎72-2126	飯豊駐在所	☎72-2245
附属中津川診療所	☎77-2330	白樺地区公民館	☎72-2242	中津川駐在所	☎77-2110

児童扶養手当・特別児童扶養手当に関するお知らせ

- ◆児童扶養手当認定者の方
(母子家庭等が対象)
児童扶養手当の認定を受けた方は、毎年8月中に「現況届」を提出する必要があります。受給資格にかかる大切な届出です。必ず提出してください。
- ◇受付期限／8月31日(火)まで
- ◆特別児童扶養手当受給者の方
特別児童扶養手当を受けている方は9月10日までに「所得状況届」の提出が必要です。必ず提出してください。
- ◇受付期限／9月10日(金)まで
- ◆受付時間／8:30～17:00
※土・日曜日、祝祭日を除く
- ◆提出・問合せ先
役場教育文化課子育て支援室
☎72-2111内線163、167

日本赤十字社
職員募集のお知らせ

- ◆職種・採用予定人員
一般事務職…若干名
- ◆応募条件
- ①昭和50年4月2日以降生まれで4年制大学を卒業された方
- ②平成23年3月に4年制大学卒業見込みの方
- ③第一種普通自動車免許取得または平成23年3月まで免許取得見込みの方
- ◆応募方法／日本赤十字社山形県支部ホームページを参考ください
<http://www.jrc-yamagata.com>
- ◆応募締切／9月10日(金)
- ◆応募・問合せ先
日本赤十字社山形県支部総務課
☎023-641-1353

西置賜行政組合職員採用試験のお知らせ

- ◆職種・採用予定人員
- ①養護老人ホーム職員…1名
- ②消防職…7名程度
- ◆受験資格／昭和57年4月2日以降に生まれ、高校卒(平成23年3月までに卒業見込みの方を含む)以上の学歴を有する方
- ※消防職は長井市、小国町、白鷹町、飯豊町の居住者または当該地域に居住予定の方
- ◆受付期間／8月23日(月)～9月14日(火)
8:30～17:00(締切の日時必着)
(土・日曜日を除く)
- ◆試験日・試験会場
- ◇期日／10月17日(日)
- ◇会場／長井市勤労センター(長井市)
- ◆試験内容
- ◇一次試験／教養試験(初級行政)・作文試験・適性検査(筆記)
- ◇二次試験／人物試験・体力試験
※体力試験は消防職のみ
- ◆採用予定日／平成23年4月1日
- ◆受験申込書の請求先／西置賜行政組合事務局、養護老人ホームおいたま荘、消防本部・消防署、消防飯豊分署
- ◆申込・問合せ先
西置賜行政組合事務局☎88-4336

踏切事故0運動実施中

- 踏切事故防止のために次のことを守りましょう。
- ①止まる…踏切の手前で必ず一旦停止
 - ②聞く…警報機が鳴っていないか確認
 - ③見る…遮断機、前方、左右の安全確認
 - ④進む…途中で止まらず一気に渡る
 - ◆問合せ先／山形県鉄道防犯連絡協議会連合会事務局☎023-622-8977

総合型地域スポーツクラブ
愛称・キャラクター募集

- 来年2月、町に総合型地域スポーツクラブが設立されます。地域や年齢などを問わず、だれでも、いつでも参加できるスポーツクラブです。皆さんに親しまれる愛称とキャラクターを募集します。
- ◆募集内容
 - ①クラブの愛称
 - ②マスコットとなるキャラクター
 - ◆応募方法
町民スポーツセンターに設置の応募用紙で申し込みください。キャラクターについては、デジタル画像データでも応募できます
 - ※応募用紙は町のホームページからもダウンロードできます
 - ◆審査など
いいで総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会が審査の上、採用された作品には記念品を贈呈
 - ◆応募締切／9月30日(木)まで
 - ◆応募・問合せ先
町民スポーツセンター☎72-3086

新しい農業委員を紹介します



横澤浩雄さん

(黒沢・白川土地改良区推薦)

町の農業発展と農家の地位向上を目指し、職務に励んでまいります。

こせきのまど
戸籍の窓

(7月届け出分)

ご結婚おめでとうございます

住所	氏名
(添川石井豪さん 仙台市渡部舞さん)	
(中井佐藤仁史さん 長井市寺島美雪さん)	
(南陽旭昌也さん 高峰伊藤梓さん 手ノ子鈴木毅さん 仙台市本葉さん)	
(萩生小松光さん 仙台市武田智江さん)	
(小白川渡部雄市さん 長井市富永千亜紀さん)	

お誕生おめでとうございます

住所	氏名	ご両親
中鈴木斗真くん	真くん	(譲美人美)
萩生嵐奏夢くん	夢くん	(正広)
椿菊地我彪くん	彪くん	(拓里也美)

心からおくやみ申し上げます

住所	氏名	年齢
萩生石原手塚俊さん	俊さん	86
添川昭和船山昭夫さん	昭夫さん	80
高峰西向高橋直人さん	直人さん	60
萩生町西梅津敏夫さん	敏夫さん	63
手ノ子向原北伊藤智子さん	智子さん	84
萩生譚粉木村房夫さん	房夫さん	85
小白川上郷齋藤令子さん	令子さん	76
手ノ子町下金子英子さん	英子さん	87
中 南新田渡部トキヨさん	トキヨさん	81

※この欄に掲載を望まない場合は届出の際にお申し出てください。

人の動き

7月分 () 内は対前月比		
世帯数	2,401 (-1)	転入 17
人口	男 3,989 (-1)	転出 17
	女 4,252 (-7)	出生 3
計	8,241 (-8)	死亡 11

**「ひきこもり相談会」・
「うつ病家族教室」のご案内**

- ◆ひきこもり相談会
 - ◇内容／ひきこもりや不登校などに関する相談会
 - ◇日時／8月29日(日) 13:30~16:30
 - ◇場所／から・ころセンター(米沢市)
 - ◇相談担当／精神科医師、保健師ほか
 - ◇相談料／無料
 - ◇申込締切／8月26日(木)まで
- ◆うつ病家族教室
 - ◇内容／2回コース
 - ①「うつ病ってどんな病気？」
講師／佐藤病院 精神科医師
 - ②「大切な人がうつ病になったら」
講師／佐藤病院 臨床心理士
 - ◇対象／うつ病と診断された方の家族
 - ◇日時／①8月27日(金) 13:30~15:00
②9月29日(水) 13:30~15:00
 - ◇場所／えくぼプラザ(南陽市)
 - ◇参加料／無料
 - ◇申込締切／8月20日(金)まで
 - ◆申込方法／下記まで電話で申し込み
 - ◆申込・問合せ先／置賜保健所地域保健予防課 ☎0238-22-3015

**東北電力山形支店主催
子育てトークイベント**

- ◆日時／9月5日(日) 13:30~15:30
- ◆場所／東京第一ホテル米沢(米沢市)
- ◆内容／米沢女子短期大学学長講演、タレント山口もえさんトークショー
- ◆参加費／無料(無料託児付き)
- ◆定員／300名
- ◆申込方法／はがき、FAX、ホームページなどで申し込み。詳細は下記まで
- ◆申込締切／8月19日(木)
- ◆申込・問合せ先／東北電力(株)山形支店企画管理部門 ☎023-634-8007

**国保診療所(椿)
受付時間の延長について**

町民の皆さんが来院しやすく、身近な医療を提供するために、8月以降も受付時間を延長しています。診療受付延長は、月曜日と水曜日の週2回です。どうぞご利用ください。

- ◆受付時間
 - ◇月・水曜日 8:30~11:30、13:30~18:00
 - ◇火曜日 8:30~11:30 (午後は往診)
 - ◇金曜日 8:30~11:30、13:30~16:00
- ◆休診日／木・土・日曜日・祝祭日
- ◆その他／各種健康診断、胃内視鏡検査、腹部超音波検査、訪問診療などは事前にご相談ください
- ◆問合せ先／町国保診療所 ☎72-2300

救急講習開催のご案内

- ◆期日／9月12日(日)
- ◆場所／西置賜行政組合消防本部(長井市)
- ◆内容・時間
 - ①普通救命講習(2回実施・3時間)
心肺蘇生法・AED使用法
午前の部9:00~、午後の部13:30~
 - ②上級救命講習(8時間)
心肺蘇生法・AED使用法・応急手当など 9:00~18:00
- ※申込者3名に満たない場合は中止となります
- ◆申込方法／電話で下記まで申し込み
- ◆申込締切／9月7日(火)まで
- ◆その他／修了者には終了証を交付
- ◆申込・問合せ先
消防署飯豊分署 ☎72-2222

「白川ダム周辺でも冬の雨が多くなった」とは、特集の取材で伺った山形県企業局置賜事務所の渡辺忠志施設管理主査の言葉。さらに高峰地区協議会の山口健会長は「ひと昔前、ホタルはお盆ころに飛んでいたもの。時期が早くなっている」とも。

取材中に予期しない話を聞くことが多々あります。良いことならばいざしらず、地球温暖化の足音となれば、背筋が凍ります。30年後の飯豊町、日本、地球はどうなっているのか? 杞憂と笑われても、将来を案じずにはいられません。(横山)





語り合いの交流から まちづくりの種をまく いいで未来号Ⅱ 2010.7.31-8.1

秋田県で「若者会議」を視察

7月31日から8月1日にかけて、「いいで未来号Ⅱ」が実施された。この事業の目的は、一步町を離れ、飯豊の課題や将来について町民が語り合い、意見をまちづくりに生かしていくというものである。今年で2回目となる。

町内外からの一般参加者が24名にぎわい再現プロジェクト委員会から9名、その後藤町長と事務局の合計36名が参加した。今回は参加対象を65歳までとした。その結果、20歳代から60歳代までと広い年代での交流が可能となった。

初日は、秋田県で実施している「若者会議（ヤングミッシヨン）」を視察。「若者会議」とは、若者が集まり、現状の課題や意見を出し、目指す地域の理想像を描き出す取り組みだ。県から委託を受けたNPO法人が実施する。県内各地で開かれているのが特徴で、出てくる課題や将来像は地域によって異なるという。未来号は、仙北市での会議に参加。運営する秋田県南NPOセンター職員から事業の説明を聞いた後、実際のグループ活動の様子を見学。「仙北市の歴史上の偉人をNHKの大河ドラマに売り込もう」など、若者らしい強いアイデアが次々と発表され、参加者を驚かせた。さらに町から

参加者の声



Interview

他県の現場を視察し、良い刺激に

いとうさとみ
伊藤聡美さん
小屋

昨年未来号に参加しましたが、今回はいろんな世代の方と交流ができて良かったです。他県でも同じような課題を抱え、話し合いをしている現場を視察でき、とても良い刺激になりました。今後も人とのつながりを大切にしていきたいです。



Interview

より多くの地区からの参加を

やまぐちよしゆき
山口順之さん
椿

違う職種の方々と話し合える「町民主体」の事業でとても良かったです。相手の意見を尊重して否定せず、自由に発言できた環境が、今回の成功の理由だと思います。次回はより多くの地区から参加が望めることを期待したいです。



Interview

前進姿勢に町の光を感じた

まつただちゅういち
松田忠一さん
椿

参加者の前進姿勢が伺えて、町の光が見える思いでした。今回出された意見を集約し、分析を進めれば、町の将来像を描くことができると思います。経験に裏打ちされたシルバー世代の方のご意見も今後の参考にしたいです。

復刻版！椿劇場

昭和の

にぎわい再現!!



写真はイメージです

古きよき時代の「昭和の懐かしさとレトロ」を演出し、かつてにぎわいをみせていた「椿劇場」を一夜限り復活させる「復刻版！椿劇場」を開催します。

つきましては、夜市の出店に協力してくださる皆さんを募集します。一緒に昭和のにぎわいを再現しましょう！

◆日時／9月20日(月・祝)

14:00～21:00

◆場所／椿地区財津堂

◆内容／野外映画上映会、夜市

◆夜市の出店募集について

①テントはこちらで準備いたします(テント代4,000円)

②ゴミは出店者が処分してください

③臨時飲食店申請は別途3,200円かかります(申請は町観光協会で行います)

④電源が必要な方は、ドラムの準備をお願いします

⑤出店者説明会を8月26日(木)15時から町民総合センター「あ～す」で開催します

◆問合せ先

①復刻版！椿劇場について…
役場総務企画課プロジェクト推進室 ☎72-2111内線232・230

②出店申し込みについて…
飯豊町観光協会 ☎86-2411



- ①新潟港に到着し、フェリーのデッキから手を振る参加者たち。一人ひとりの表情から今回の事業の充実がうかがえる
- ②船内でのグループ活動の様子。まさに参加者が膝を突き合わせて意見を交わした
- ③仙北市「若者会議」の参加者と一緒記念写真。貴重な交流となった
- ④「若者会議」の話し合いに加わる飯豊町の参加者



の参加者もグループに加わり、仙北市の若者と意見交換する機会も得ることができた。

「若者会議」の視察は、翌日の活動に大きな影響を与える。未来号の二日目は、帰路のフェリーの中で半日以上、グループ活動に費やす。一人ひとりが「まちづくり」について活発な意見を出し、議論が盛り上がる。「こんなに町のことを話した機会はいままでなかった。職業も年代も異なる人と遠慮なしに話し合える場面は、この『いいで未来号』でしかありえない」とある参加者は言い切る。

事業の成果は、すぐに出るものではない。にぎわいを再現するには、まだまだ人づくりが欠かせない。町内に広く交流の輪を広げ、アイデアをみんなで行動に移すことが肝要。参加者がそのことを一番よく知っている。



- ⑤帰りの船内では「自分たちで「まちづくり」をやってみよう！」をテーマにグループ活動を実施。それぞれのグループの発表を、参加者は真剣に聞き入っていた

【入選作品】



静寂な夜明け

(撮影場所／中津川地内)

写真は、平成20年度に開催されました「未来につなぐいいでフォトコンテスト」で入賞された作品です。

撮影者

鈴木明吉さん (南陽市)

今回は選んでくださりまして、ありがとうございました。
白川ダムは毎週のように行っています。この撮影場所は工事が施工されており、残念ながらこの時が最後の撮影になってしまいました。一期一会の魅力でありながら、さみしい現実でもあります。

写真家 佐藤秀明先生の講評

白川湖畔の夜明けと言えば、東を向いた直接的な写真が多いのですが、この作品は飯豊山に夜明けを語らせています。まだ陽が当たらない湖畔の凜とした風景とのコラボレーションが静寂となって伝わってきます。

